

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2026年2週 (1月2週 1/5~1/11)

2025年12月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎、結核、ダニ媒介感染症、麻しん (はしか) 抗体検査事業

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、COVID-19、マイコプラズマ感染症等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(9)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、つつが虫病(1)、レジオネラ症(12)、アメーバ赤痢(2)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(11)、水痘(入院例に限る。)(3)、梅毒(17)、百日咳(27)

◇2025年12月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆ インフルエンザ【11月20日警報発令】(図1)

2週の定点当たり報告数は13.65、1週1,935人→2週2,225人(1.15倍)です。

【参考ページ】IDWR 2025年第49号<注目すべき感染症>インフルエンザ(国立健康危機管理研究機構)

インフルエンザ警報を発令します!(愛知県、11月20日発表)保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

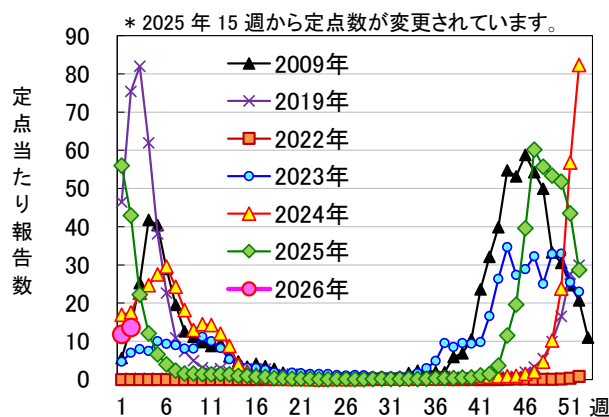


図1 インフルエンザ

◆ マイコプラズマ肺炎

2週の定点(基幹15定点)当たり報告数は1.33、1週5人→2週20人(4.00倍)です。

◆ 結核(図2)

2025年総報告数(診断週集計、2026年1月14日現在)は939件(男545件、女394件)です。2024年総報告数は991件(男555件、女436件)でした。全国の2025年総報告数は14,480件です(全国の2024年総報告数は15,843件)。

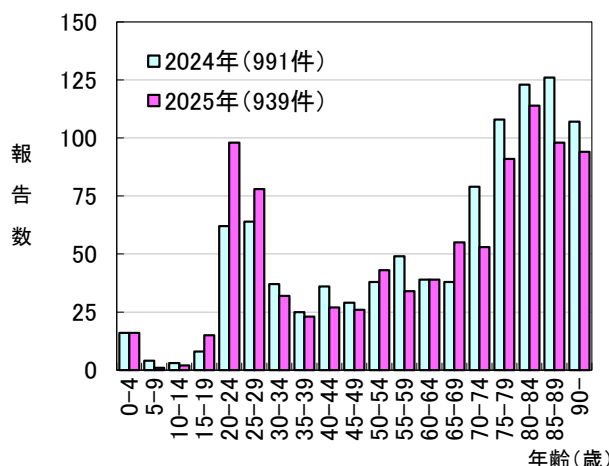


図2 結核の年齢階級別報告数

(愛知県、診断週集計、2026年1月14日現在)

◆ ダニ媒介感染症

2026年では2週(診断週)までに、つつが虫病1件(2週1件)報告されています。2025年では、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)7件、つつが虫病7件、日本紅斑熱16件報告がありました。

【参考ページ】[ダニ媒介感染症\(厚生労働省\)](#)

◆ 麻しん(はしか)抗体検査事業

愛知県(名古屋、豊橋、岡崎、一宮及び豊田を除く)では、麻しん患者の発生を未然に防止するため、麻しんに感染するおそれが高い国への渡航を予定している方、又はこれらの国からの帰国者・訪日外国人と接する機会のある方を対象として、2026年1月5日(月)から2026年3月6日(金)まで無料で麻しんの抗体検査を受けられる事業を開始しました。

【参考ページ】[麻しん\(はしか\)抗体検査事業を開始します\(愛知県\)](#)

病原体検出情報 —2025年疾患別ウイルス検出速報— (2026年1月1日現在)

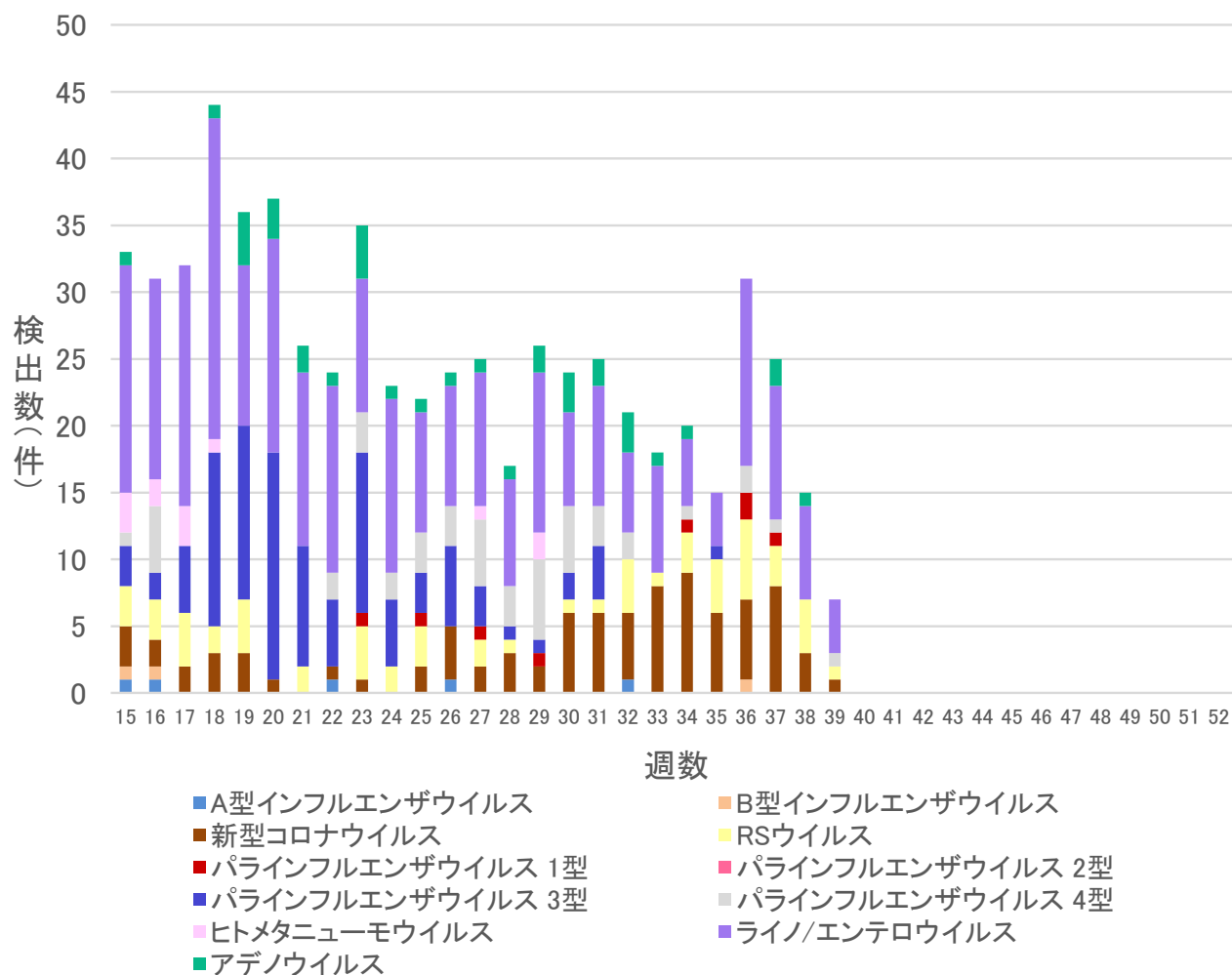
	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎・脳症
患者数	36(4)	4	5(1)	2	-	-	6	3
E-11	-	1(1)	-	-	-	-	-	-
E-18	-	-	-	-	-	-	1	-
HRV	-	1	1(1)	-	-	-	1	-
PeV-A1	1	-	-	-	-	-	-	-
PeV-A5	-	-	1	-	-	-	-	-
HPIV-3	-	1	-	1	-	-	-	-
HPIV-4	-	-	-	-	-	-	-	1
RSV	-	-	1	-	-	-	-	-
RV-A	1	-	-	-	-	-	-	-
NV-GI	1	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	15	-	-	-	-	-	-	-
SV	1	-	-	-	-	-	-	-
HAdV-2	-	-	-	2	-	-	-	-
HAdV-41	5	-	-	-	-	-	-	-
検査中	4	1	1	-	-	-	-	-
陰性	9(1)	-	2	-	-	-	4	2

- ・ ()内の数は前回の情報からの増加分を示しています(再掲)。
- ・ 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。

略: ウイルス名

E: エコーウイルス、HAdV: アデノウイルス、HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、
 HRV: ライノウイルス、NV: ノロウイルス、PeV: パレコウイルス、RSV: RSウイルス、
 RV: ロタウイルス、SV: サポウイルス

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) 検体からのウイルス検出数 (2026年1月1日現在)



- ・ 検体採取日の週でウイルス検出数を集計しています。
- ・ 集計時点における検出数であるため、過去に掲載された値とは必ずしも一致しません。
- ・ 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。
- ・ ライノ/エンテロウイルスは、ライノウイルスまたはエンテロウイルスが検出されたものです。

* 急性呼吸器感染症 (ARI) 検体からの病原体検出内訳 (csv ファイル) は [こちら](#) からダウンロードできます。

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- covid-19 なし
インフルエンザ感染症 8名
溶連菌感染症 2名
感染性胃腸炎やや目立ちます。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- インフルA 8例
インフルB 1例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- A型インフルエンザ 11名
B型インフルエンザ 13名
COVID-19 1名
インフルエンザは激減しました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- インフルエンザA 5名
インフルエンザB 2名
COVID-19 1名
【清須市 丹羽医院】
- A型インフルエンザ 3名
B型インフルエンザ 6名
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

- インフルエンザ
男 A 10名、B 7名
女 A 9名、B 2名
【瀬戸市 公立陶生病院】
- インフルエンザ 10名
A型 4名、B型 6名
COVID-19 1名
年明けからは静かです。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザA型 15名
インフルエンザB型 12名
covid-19 3名
胃腸炎が増えています。
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザBがパラパラ。Aもまだあり。
【豊明市 おおはしこどもクリニック】
- インフルエンザ 10例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- FluB 19人
【小牧市 志水こどもクリニック】
- B型インフルエンザ 2名
【春日井市 医療法人道雄会和田クリニック】
- インフルエンザはA・B混在しています。
水痘 20代女
【半田市 林医科歯科医院】
- インフルA 1名
インフルB 6名
【知多市 つつじが丘こどもクリニック】
- インフルエンザA型 11名
インフルエンザB型 10名
A型からB型に移っていきそうです。
【東海市 こいで内科医院】
- インフルエンザは激減しました。
【大府市 みどりの森クリニック】

西三河地区

- インフルエンザは全てA型
Mycro PCR(+) 変異有 8歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルA型 2名
インフルB型 3名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルB型 3名(同一家族)
【豊田市 おおしま小児科アレルギー科】
- インフルエンザA 13例
インフルエンザB 3例
COVID-19 1例
マイコプラズマ肺炎 11歳女
RSV 1例
水痘 1例
伝染性紅斑 2例
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザ感染症B型は20%
マイコプラズマ感染症 4歳男
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザA型 3名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- インフルエンザB型 6例
【岡崎市 ともファミリークリニック】
- インフルエンザA型 4名
インフルエンザB型 9名
【岡崎市 いわせこどもクリニック】
- インフルエンザA型 30名、B型 3名
【岡崎市 みなとクリニック】
- インフルエンザA 8人、B 1人
【岡崎市 しいの木こどもクリニック】
- インフルエンザはほぼB型(少ない)
マイコ 再度増加 9名
【安城市 マグマグこどもクリニック】
- インフル、コロナともまだ流行中。
【安城市 アイエムクリニック安城】
- FluA 7人
FluB 3人
【西尾市 やすい小児科】
- インフルエンザ
B型 男 5名、女 2名
型不明 男 1名、女 2名
AB同時感染 28歳男 1名
他はA型インフルエンザ
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

- インフルエンザAは減少、Bは3名
RSV 感染症 1名 16歳男
【豊橋市 いむれ内科クリニック】
- インフルエンザA型 5人
インフルエンザB型 4人
【豊川市 ささき小児科】
- [12月報 STD 定点コメント]
- マイコプラズマ尿道炎 1名
マイコプラズマ子宮頸管炎 1名
トリコモナス尿道炎 1名
【豊橋市 古島クリニック】

一類～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jyun250407.pdf

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2026年2週報告数			2026年総計(1～2週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	5	2		7	2	1
豊田市	1			2	1	
豊橋市	1			1		
岡崎市						
一宮市						
瀬戸				1		
半田	1	1		1	1	
春日井						
豊川						
津島	1			1		
西尾						
江南						
新城						
知多						
清須				1		
衣浦東部				1	1	
合計	9	3	0	15	5	1

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所地域	年代	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	70代	男	12/31	1/3	1/8	O157、VT1(+) VT2(+)
2	西三河	30代	女	12/30	12/30	1/6	O103、VT型不明

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **つつが虫病（四類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	感染地域
1	西三河	60代	男	豊田市

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	80代～	女	肺炎型	不明
2	名古屋市	80代～	男	肺炎型	国内
3	名古屋市	80代～	男	肺炎型	国内
4	名古屋市	60代	男	肺炎型	不明
5	尾張西部	80代～	男	肺炎型	国内
6	尾張東部	80代～	男	肺炎型	不明
7	尾張東部	80代～	男	肺炎型	国内
8	西三河	70代	男	肺炎型	国内
9	西三河	70代	男	肺炎型	不明
10	西三河	80代～	男	肺炎型	国内
11	東三河	60代	男	肺炎型	国内、タイ
12	東三河	70代	男	肺炎型	不明

● **アメーバ赤痢（五類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	50代	女	腸管アメーバ症	不明	国内
2	尾張東部	50代	女	腸管アメーバ症	不明	国内

● **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	70代	男	医療器具関連感染	国内	無

● **後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染経路	感染地域
1	尾張西部	30代	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

● **侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染地域
1	尾張西部	80代～	女	不明	国内
2	尾張西部	80代～	男	不明	不明

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染地域	
1	名古屋市	60代	男	無	国内	
2	尾張西部	80代～	男	無	国内	
3	尾張西部	80代～	女	無	国内	
4	尾張西部	30代	男	無	国内	
5	尾張西部	60代	女	不明	国内	
6	尾張東部	50代	男	不明	国内	
7	尾張東部	70代	男	不明	国内	
8	西三河	60代	男	不明	不明	
9	西三河	70代	男	有	国内	
10	西三河	80代～	女	不明	国内	
11	西三河	80代～	女	不明	国内	
● 水痘（入院例に限る。）（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	予防接種歴	感染地域	
1	名古屋市	10歳未満	男	有	国内	
2	名古屋市	10代	男	不明	国内	
3	尾張東部	30代	男	不明	国内	
● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所地域	年代	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	20代	女	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	20代	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	10代	女	無症候	性的接触	不明
4	名古屋市	20代	女	無症候	性的接触	国内
5	名古屋市	20代	女	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	20代	女	無症候	性的接触	国内
7	名古屋市	20代	女	早期顕症	性的接触	国内
8	名古屋市	20代	男	早期顕症	性的接触	国内
9	名古屋市	20代	女	無症候	性的接触	国内
10	名古屋市	50代	女	無症候	性的接触	国内
11	名古屋市	30代	男	早期顕症	性的接触	国内
12	名古屋市	40代	男	無症候	性的接触	国内
13	名古屋市	40代	男	早期顕症	性的接触	国内
14	名古屋市	50代	男	無症候	性的接触	国内
15	尾張東部	30代	女	早期顕症	性的接触	国内
16	西三河	10代	男	早期顕症	性的接触	アメリカ合衆国
17	西三河	50代	男	早期顕症	性的接触	国内

● 百日咳（五類感染症）										
報告保健所地域	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	総数
名古屋市	2	0	0	2	1	0	1	0	0	6
尾張西部	1	3	1	2	0	0	0	0	0	7
尾張東部	2	3	0	0	0	2	1	0	1	9
西三河	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4
東三河	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	8	6	1	6	1	2	2	0	1	27

12月の一～五類、新型インフルエンザ等感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2024～2025年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数	2025年12月			2025年	2024年		
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	総計	総計		
				<愛知県全体>	<愛知県全体>		
一類 (7)	【対象となる7疾病】	0	0	0	0		
二類 (7)	結核	55 (12)	31 (11)	86 (23)	939 (258)		
三類 (5)	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)		
	腸管出血性大腸菌感染症	8 (5)	5 (2)	13 (7)	209 (52)		
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)		
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	12		
	A型肝炎	0	1	1	8		
	エムボックス	0	0	0	0		
	オウム病	0	0	0	1		
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0		
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	7		
	チクングニア熱	0	0	0	2		
	つつが虫病	6	0	6	7		
	デング熱	0	0	0	4		
	日本紅斑熱	0	0	0	16		
	日本脳炎	0	0	0	0		
	ブルセラ症	1	0	1	1		
	マラリア	0	0	0	2		
	ライム病	0	0	0	0		
	レジオネラ症	3	4	7	162		
	レプトスピラ症	0	0	0	1		
	五類 (24)	アメーバ赤痢	1	0	1	26	
		ウイルス性肝炎	1	0	1	12	
		内訳	B型	1	0	1	9
			その他	0	0	0	3
カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感染症		2	4	6	101		
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)		0	0	0	2		
急性脳炎		4	1	5	35		
クリプトスポリジウム症		0	0	0	1		
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	2	11		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		4	5	9	93		
後天性免疫不全症候群		2	5	7	53		
内訳		無症候性キャリア	0	4	4	31	
		AIDS	2	1	3	18	
		その他	0	0	0	4	
ジアルジア症		0	0	0	0		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	3	5	54		
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	6		
侵襲性肺炎球菌感染症		22	6	28	254		
水痘(入院例に限る。)		2	3	5	45		
梅毒		14	44	58	853		
内訳	無症候	4	15	19	235		
	早期顕症	10	29	39	601		
	晩期顕症	0	0	0	16		
	先天梅毒	0	0	0	1		
播種性クリプトコックス症	0	1	1	13			
破傷風	0	0	0	9			
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0			
百日咳	101	35	136	3,625			
風しん	0	0	0	0			
麻しん	2	0	2	18			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	1			
総計	231	149	380	6,584			
					3,173		

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2025年12月					2025年 総計		2024年 総計	
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体			
				合計	合計				
性感染症 定点	性器クラミジア感染症	男	32	59	91	1,407	2,230	1,653	2,535
		女	47	15	62	823		882	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	13	55	68	766	1,325	647	1,203
		女	13	52	65	559		556	
	尖圭コンジローマ	男	7	27	34	531	648	610	766
		女	6	4	10	117		156	
淋菌感染症	男	16	35	51	703	817	839	1,003	
	女	6	7	13	114		164		
基幹 定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		57	6	63	823		829	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		4	0	4	34		38	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2		2	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2025年12月			2025年 総計		2024年 総計	
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体		愛知県 全体	
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	0	0	0	13		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2025年4月7日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症
四類感染症 (44疾病)	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症
五類感染症 (50疾病)	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症 (4疾病)	<p>【新型インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症】 新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p> <p>【再興型インフルエンザ又は再興型コロナウイルス感染症】 かつて世界的規模で流行した感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p>
指定感染症	既知の感染症の中で、前記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症(政令で指定、一年限定)
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症

* 2025年4月7日から急性呼吸器感染症が感染症法上の五類感染症に位置付けられました。

愛知県感染症情報

愛知県衛生研究所

2026年2週(2026年1月5日～2026年1月11日)

	定点数					ARI定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						
	ARI	小児科	眼科	STD	基幹	急性呼吸器感染症(ARI)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	COVID-19	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	インフルエンザによる入院患者	COVID-19による入院患者
愛知県全体	163	101	35	54	15	11,219	2,225	268	58	20	119	521	21	0	44	16	0	1	1	25	0	1	20	0	0	62	14
愛知県 (名古屋市を除く)	113	70	24	39	12	8,229	1,632	184	43	11	85	377	10	0	43	12	0	1	1	23	0	0	17	0	0	48	10
名古屋市	50	31	11	15	3	2,990	593	84	15	9	34	144	11		1	4				2		1	3			14	4
瀬戸	9	6	2	3	1	575	115	14	2	2	4	9	3		2	1				4			1			6	4
津島	7	4	2	2	1	453	69	9			6	31	1		1	3							1			2	
清須	7	4	2	2		606	94	10	9		11	38			4	2		1		9							
一宮市	9	5	2	3	1	587	183	34	2		4	36			1	2				5						3	
春日井	9	6	2	3	1	614	137	9	6	1	5	18	1		4								4				1
江南	6	4	1	2		427	93	16	1	1	9	15							1	2							
半田	6	4	1	2	1	621	111	11		1		13			2	1				2			1			2	
知多	7	5	2	2		569	89	8	2		6	21															
岡崎市	9	5	2	4	1	635	119	9	3	3	5	42	2		6											5	
衣浦東部	12	8	2	4	1	723	176	11	10	2	7	22			4								2			3	
西尾	5	3	1	2	1	460	97	7	2		1	46	1		6	1										11	
豊田市	9	6	2	4	1	813	118	13	2		8	24	1		2	1			1				6			2	4
豊橋市	9	5	2	4	1	593	111	13	2		10	32	1		5	1										8	
豊川	7	4	1	2	1	479	116	19	2	1	9	30			6								2			5	1
新城	2	1			1	74	4	1																		1	

2025年4月7日からの急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの開始に伴い、愛知県の定点医療機関数が変更されました。

グラフ総覧

2026年2週(1月5日～1月11日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から最新週までの定点(ARI・小児科・眼科・基幹)当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。2025年4月7日からの急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの開始に伴い、愛知県の定点医療機関数が変更されました。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。
<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.xlsx>

